

[前年同期比較表]

部 門： 002 まつえ

責任者名：

部門業績報告書

令和 6年10月 1日～令和 7年 9月30日

理 事 長	責 任 者	担 当 者

7. 12. 11

P- 1

(単位千円)

行	項 目	当期累計	構成比	前年同期	構成比	前年比	当期計画	構成比	計画比
1	純売上高	95,267	100.0	97,236	100.0	98.0			
2	期首棚卸高	641	0.7	689	0.7	93.0			
3	仕入高	3,826	4.0	3,368	3.5	113.6			
4	外注加工費		0.0		0.0				
5	他の変動費		0.0		0.0				
6	月末棚卸高 (△)	1,029	1.1	641	0.7	160.6			
7	共通原価配賦		0.0		0.0				
8	変動費合計	3,437	3.6	3,417	3.5	100.6			
9	限界利益	91,829	96.4	93,819	96.5	97.9			
10	人件費	40,935	43.0	36,356	37.4	112.6			
11	他の固定費	36,697	38.5	41,996	43.2	87.4			
12	部門固定費計	77,633	81.5	78,353	80.6	99.1			
13	部門達成利益	14,196	14.9	15,465	15.9	91.8			
14	設備費		0.0		0.0				
15	部門貢献利益	14,196	14.9	15,465	15.9	91.8			
16	共通固定費配賦		0.0		0.0				
17	部門貢献利益 (配賦後)	14,196	14.9	15,465	15.9	91.8			
18	棚卸高増減 (△)		0.0		0.0				
19	固定費合計	77,633	81.5	78,353	80.6	99.1			
20	経常利益	14,196	14.9	15,465	15.9	91.8			

1. 純売上高(1)が、前年比 98.0 % (1,969 千円減少)、計画比 - % (95,267 千円超過) となった理由は？

- ・お看取りや入院による終診患者数に比べ、新患が少なく結果として売上高（患者数や訪問回数）が増えなかった。

2. 限界利益率(9)が前年比よりも 0.1 % 悪化した理由は？

- ・決算月に「ワクチン仕入れ」を計上し棚卸も増えた。（前期は10月仕入れ）

3. 他の固定費(11)が、前年比 87.4 % (5,299 千円減少)、計画比 - % (36,697 千円超過) となった理由は？

- ・期中の患者数推移/予測から、経費削減に努めた。

4. 今後の売上高(1)と部門達成利益(13)の見通しについて

- ・売上向上=積極的な集患活動の実施と「連携強化在宅療養支援診療所」の届出（11月～算定）を実施。

- ・部門達成利益の向上=売上の向上と、院長を含む役員報酬の減額（総会での議決済み）

5. 業績改善の「打ち手」について

- ・上記4. の実施で、2025年度は黒字化を目指す。
